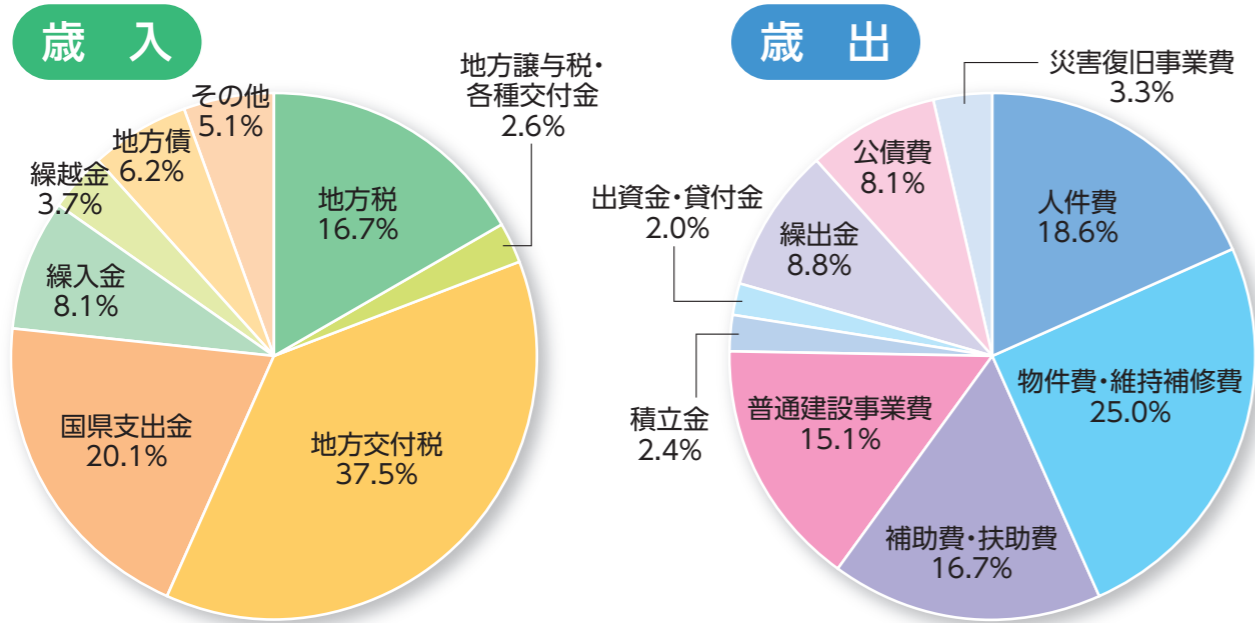


# 七ヶ宿町の令和2年度 決算の状況をお知らせします

みなさんから納めていただいた税金や国・県からの支出金等がどのように使われているかを令和2年度の普通会計(一般会計・町営バス特別会計・介護サービス特別会計・七ヶ宿ダム自然休養公園特別会計)を中心に決算の概要をお知らせします。

普通会計において町に入ったお金(歳入)は29億6,506万円で、町が使ったお金(歳出)は28億2,923万円でした。新型コロナウイルス感染症対策等の予算が措置されたことから、前年度と比べると歳入は1億2,990万円の増、歳出は1億7,244万円の増となりました。

## 歳入歳出決算状況の割合



## 令和2年度の主な事業

### 南蔵王やまびこの森キャンプ場環境整備事業 〈事業費 1,596万円〉

令和2年7月にリニューアルオープンした「南蔵王やまびこの森キャンプ場」の更なる誘客と利用者の利便性向上のため、備品や外構工事等を実施しました。



### 木材チップ生産施設新築工事関連事業 〈事業費 17,638万円〉

町産材の利用及び未利用材の有効活用を進め、森林再生による雇用の創出、森林整備と林業を中心とした地域経済の循環を目的に、チップの生産から販売までを手掛ける木材チップ生産施設を整備しました。



### 新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金事業 〈事業費 10,799万円〉

感染防止のためのマスクやパーテーションなどの資材の購入、小中学校の遠隔学習のための機器等の整備など、様々な対策のため交付金を活用しました。



### 地域おこし協力隊事業 〈事業費 2,962万円〉

都市部の意欲ある人材を積極的に受け入れて、地域おこし協力隊員として最長3年間委嘱し、様々な活動に取り組みながら、定住・定着を図っています。



### 公営住宅建設事業 〈事業費 5,197万円〉

築30年以上が経過し、老朽化の進んだ瀬見原地区の町営住宅を建替えました。



### スクールバス購入事業 〈事業費 1,007万円〉

地域子どもたちが安心安全に通学するために、老朽化した車両の代替えとして、スクールバスを更新しました。



## 決算の状況

歳入		
地方税	4億9,378万円(↘)	町民税、固定資産税などみなさんから納められた税金やダム交付金などです。
地方譲与税・各種交付金	7,691万円(↗)	自動車重量譲与税及び地方消費税交付金や利子・配当にかかる税の一部が町に交付されたお金です。
地方交付税	11億1,110万円(↗)	地方税の収入が少ない団体に財源を保障し、一定の行政サービスを提供できるように国から交付されたお金です。普通交付税と特別交付税、震災復興特別交付税があります。
国県支出金	5億9,589万円(↗)	国や県から特定の目的のために支出されるお金です。
繰入金	2億4,143万円(↘)	財源不足を補うために基金などから補っているお金です。財政調整基金、減債基金、振興基金などが含まれます。
繰越金	1億836万円(↗)	前年度から繰り越したお金です。
地方債	1億8,458万円(↘)	町が財源を確保するために借り入れたお金です。
その他	1億5,301万円(↗)	町の施設使用料や町営バスの使用料・中小企業等への貸付金の元利収入などのお金です。
合計	29億6,506万円(↗)	

歳出		
人件費	5億2,516万円(↗)	町長や議会議員の報酬、職員の給与、共済組合(社会保険)の負担金などです。
物件費・維持補修	7億811万円(↗)	物件費は電話代や郵便代、燃料費、光熱水費、消耗品費、委託料などです。維持管理費は町が管理する公共用施設等を維持するための経費です。
補助費・扶助費	4億7,169万円(↗)	補助費は各種団体への補助金、仙南地域広域行政事務組合や公立刈田総合病院等への負担金などです。扶助費は生活するための社会保障給付金、医療費助成などです。
普通建設事業費	4億2,722万円(↘)	木材チップ生産施設新築工事や公営住宅建設工事などに使われたお金です。
積立金	6,815万円(↘)	町の貯金で財源不足が生じた時の蓄えとして、財政調整基金などに積み立てたお金です。
出資金・貸付金	5,519万円(↘)	民間等に対して必要な資金の貸し付けを行うためのお金です。
繰出金	2億4,965万円(↗)	国民健康保険、診療所、介護保険、後期高齢者医療、簡易水道、公共下水道などの特別会計に補ったお金です。
公債費	2億2,840万円(↗)	町が財源を確保するために借り入れたお金の返済金です。
災害復旧事業費	9,566万円(↗)	大雨などの災害により被災した施設を復旧するためのお金です。
合計	28億2,923万円(↗)	

※ ( ) 内の矢印は、令和元年度決算と比較しての増減を表しています。

歳入から歳出を差し引き、翌年度へ繰り越した額を除いた実質収支は…**9,745万円**となりました。